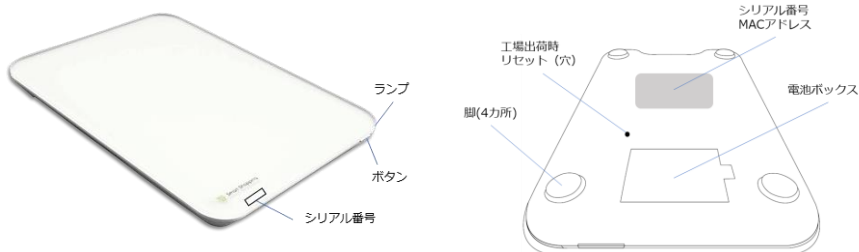


# SmartMat (SM-W32/SM-W42)

## Quick Start Manual

For English, please see

<https://smartmat.jp/en/help/>



**Version 4.0**  
**(2019/7)**

 **Smart Shopping**

## はじめに

本マニュアルはスマートマットの初期セットアップに必要な手順を主に記載しております。詳細な使い方や、最新機能、お客様のご利用事例紹介などはオンラインヘルプを御覧ください。管理ソフトの機能はお客様の要望にお応えすべく改良を重ねておりますのでオンラインヘルプ上で最新情報を公開しております。

- 初期セットアップに必要な手順
  - 管理ソフトのユーザー登録
  - スマートマットの Wi-Fi 接続
  - 管理ソフトの初期設定

- オンラインヘルプ

<https://smartmat.jp/help/>

## 1. セットアップ

### 1-0. セットアップに必要なもの

- スマートマット本体
- 単 3 型アルカリ乾電池 4 本(本体に同梱、マンガン乾電池は不可)
- **Wi-Fi 環境(周波数帯=2.4GHz)**
  - **SSID とパスワード**
    - ◇ SSID →半角英数字記号および半角スペース ~63 文字
    - ◇ パスワード →半角英数字記号 8~63 文字(スペース不可)
  - **セキュリティ制限**
    - ◇ シークレットモード →動作します
    - ◇ MAC アドレス認証 →動作しますが、ネットワーク管理者への依頼が必要です
  - **利用できるマット数**
    - ◇ Wi-Fi ルーターの能力に依存します。数が多い場合、ネットワーク見直しが必要な場合があります
- **推奨ブラウザ(最新情報はオンラインヘルプ参照)**
  - Chrome(ver68 で検証済), Safari(ver68 で検証済)、Firefox(ver62 で検証済)
  - **Internet Explorer/Microsoft Edge は動作しません**
- **管理ソフトのログイン ID(管理者メールアドレス)/パスワード**

## 1-1. 管理ソフトのユーザー登録

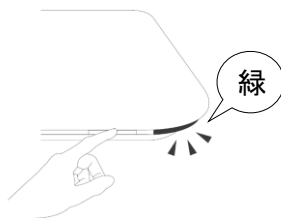
ユーザー登録ページ(<https://app.smartmat.jp/register>)から、ログイン ID を作成して管理画面にログインしてください。ユーザー登録にはメール認証を利用しますので、有効なメールアドレスをご利用ください。



## 1-2. 0kg 補正 (電池を入れた直後に必ず実施)

### アルカリ乾電池を入れ、設置場所に置き、何も載せずにボタンを押す

設置場所の環境に応じて精度補正する機能。電池挿入後、最初にボタンを押した際に動作します。ボタンを押す際、計測商品を載せないでください。(載せてしまった場合は電池の入れ直しが必要です)



## 1-3. Wi-Fi の初期設定

### 1-3-1. ユーザー端末とスマートマットを直接接続します

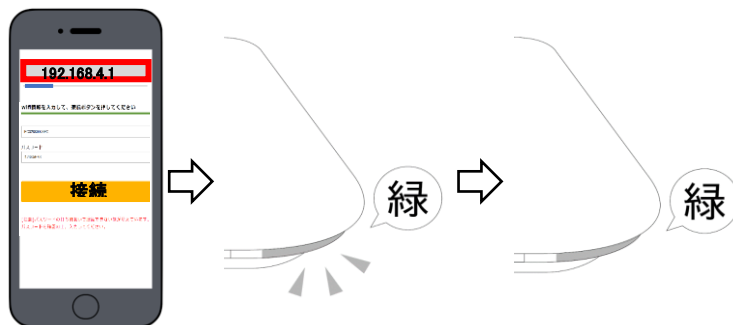
スマートマットの**ボタンを 5 秒以上長押し**するとランプが緑に点滅します。ユーザー端末を近づけ **SSID 「smartmat (シリアル番号の下 6 桁)」**という名前の Wi-Fi ネットワークを選択し、**パスワード 「smartmat」**と入力することで、直接接続します。



## 1-3-2. 推奨ブラウザから使用する Wi-Fi 情報を設定して、スマートマットをインターネットに接続します

1-3-1.で利用したユーザー端末にて**ブラウザのアドレスバーに「192.168.4.1」**を入力すると、Wi-Fi 設定ページが開きます。

**使用する Wi-Fi 環境の SSID とパスワードを入力後、「接続する」をクリックして**、ランプが点灯後、緑に点灯したら接続成功です。



**【注意】ランプが最終的に赤く点灯した場合はインターネットに接続できていません**

Wi-Fi の SSID/パスワードが正しいか・利用場所の Wi-Fi ネットワークが動作しているかを確認してから、(1-3)を最初からやり直してください。使用可能な Wi-Fi 環境は (1-0)セットアップに必要なものをご確認ください。

通信環境が悪くスマートマットがインターネットに接続しない場合は、Wi-Fi ルーターの近くで(1-3-1)の作業を行ってください。

**【接続先変更】(1-3.Wi-Fi の初期設定)をやり直して新情報を入力すれば、Wi-Fi 設定が上書きされます**

## 1-4. 管理ソフトの初期設定

管理ソフト(<https://app.smartmat.jp>)では、計測商品の設定、スマートマットの計測制御、発注/通知方法の選択などが行えます。次頁記載の初期設定を行って頂かないと、計測や発注/通知が行われないのでご注意ください。スマートマットをより活用頂くために様々な機能を用意しておりますので、初期設定完了後にはオンラインヘルプ(<https://smartmat.jp/help/>)を御覧ください。

管理ソフト QR コード



オンラインヘルプ QR コード



<管理画面のイメージ> ※画面は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください

シリアル番号	計測商品	在庫状況	消費速度	検知状況	計測回数	計測場所	注文状況	発注通知方法	発注先	仕入先	メモ
W31181000020	ミネラルウォーター	35 個	0.24個/ 日 54% WIFI	電池 満タム 異常なし	基準時間	5階冷凍 履修上	なし	メール 通知の み	設定		

**⚠️ 下記 1.4.1～3 を設定頂かないと計測・発注/通知されません**

### 1-4-1. 計測商品のマスタ登録、マットへの設定

まず、「①商品マスタ」へのデータ登録が必要です。その後、「②計測商品」にて各マットに設置する商品を選択してください。

### 1-4-2. 計測パラメータの設定

「③在庫状況」をクリックして、計測パラメータを初期設定します。“パーセントで表示” or “個数で表示”で一部必要パラメータが異なります。(満タン量、1個あたり重量、閾値、容器重量)  
kg などの重量表示はできませんのでご了承ください。

### 1-4-3. 発注/通知設定

「④発注通知方法」にて下記を選択可能です。(予告なく追加・変更される場合があります)

発注/通知方法	内容
メールアラートのみ	送信先アドレス(3つまで)に指定内容でメール送信
自動 Web 発注	購入先 EC ショップの ID/パスワードを入力すれば Web サイトから自動発注
自動メール発注	「⑤仕入先マスタ」に登録した発注先へ指定内容で自動メール発注
自動 FAX 発注	「⑤仕入先マスタ」に登録した発注先へ指定内容で自動 FAX 発注 ※別途 eFax の契約が必要。営業にお問い合わせください
Amazon DRS 発注	いつもお使いの Amazon.co.jp アカウントを用いて自動発注 発注方法を選択後に、対象商品から計測商品を選ぶ必要があります

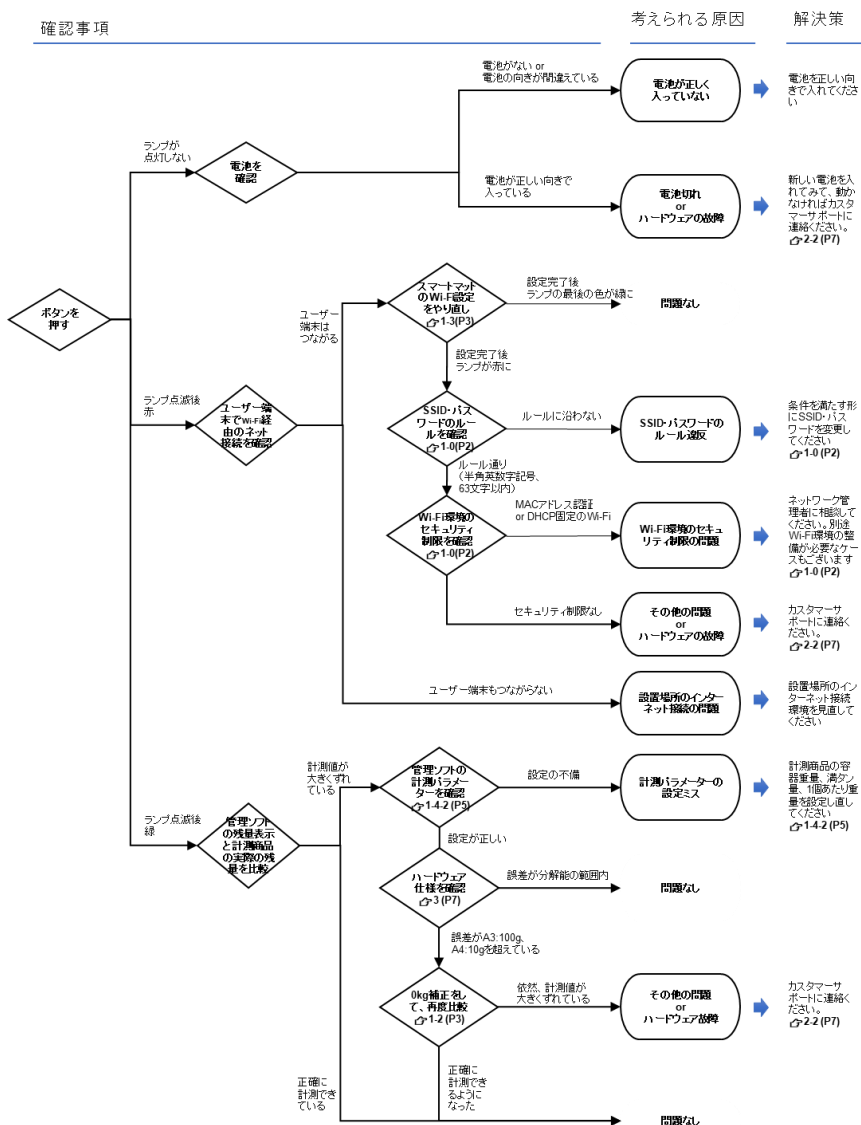
※詳細はオンラインヘルプ(<https://smartmat.jp/help/184>)を御覧ください。

## 2. 困ったときは

### トラブルシューティング(故障と思ったら)

STEP1:(再起動) 電池を入れ直し、「1-2. 0kg 補正」の手順をやり直してみてください。

STEP2:(診断) 次表に従って、故障の原因を調べてみてください



### 3. 各種情報

#### スマートマットの仕様

項目	内容	
商品名	SM-W32(スマートマット A3 サイズ Ver.2)	SM-W42(スマートマット A4 サイズ Ver.2)
外形寸法	400 x 300 x 30mm	300 x 200 x 30mm
計測分解能	100g 単位	10g 単位
最大最小重量	100g~100kg	10g~30kg
本体重量	約 2.4kg(本体のみ)	約 1.3kg(本体のみ)
通信方式	Wi-Fi 2.4GHz	
電源・電池寿命	単 3 形アルカリ乾電池 4 本で約 1 年間。6V の AC アダプタ(別売)も可能	
使用環境条件	0°C~35°C 30~85%RH	
保存環境条件	-20°C~60°C 10~95%RH	
防水性能	IPX3(鉛直±60°の噴霧水に対応)	

#### 問い合わせ先

詳細・最新情報は、オンラインヘルプ(<https://smartmat.jp/help/>)を御覧ください。それでも解決しない場合、<https://smartmat.jp/help/614/> 記載の連絡先にご連絡ください。(購入先によって連絡先が異なります)

#### 安全上・使用上のご注意

禁止	注意
<p>以下は故障の原因となります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用環境条件外での使用</li> <li>● 保存環境条件外での保存</li> <li>● 計測最大重量以上のものを載せる</li> <li>● スマートマット本体の分解、水洗い</li> </ul>	<p>正しく計測するために、以下をお守りください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期的に 0kg 補正を行う</li> <li>● 推奨された Wi-Fi 環境で設定を行う</li> <li>● なるべく硬く、平らな安定した場所で使用</li> <li>● 温度変化の激しい場所での使用はしない</li> </ul>

## Certification

### FCC Statement:

Any Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

### FCC Radiation Exposure Statement:

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator& your body.

### NCC 警語:

低功率電波輻射性電機管理辦法

#### 第 12 條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

#### 第 14 條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。